

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充

マスター
プラン

3つの挑戦
低炭素

施策番号

4-1 ・ 4-2 ・ 5-3

局・課名： 産業振興局ものづくり支援課

事業名	製品・技術開発支援事業	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
			37,476	32,915	25,779	
【目的】 中小企業の核となる優れた製品・技術の開発を支援し、中小企業の製品・技術の高付加価値化や新分野進出の円滑化を図ることを目的とする。また、近年深刻な課題となっている人材不足を補うため、IoTやロボットなどの導入により生産性向上を図り、経営基盤を強化することを目的とする。 【内容】 1. スマートものづくり導入支援補助金【拡充】 中小企業が生産性を向上させるためにIoTやロボット設備を導入する費用の一部を補助する。【自動化枠、IoT・AI枠】 2. ものづくり新事業チャレンジ支援補助金 新製品・新技術の開発に取り組む中小企業へ経費の一部を補助する。 3. 技術開発コーディネート事業 中小企業の技術開発のため、公設・民間試験研究機関等と連携し、事業化・製品化に向けた支援を行う。 4. 第二創業促進支援業務 中小企業における若手経営者等を対象に、起業マインドを掘り起こし、第二創業や新規事業展開を促進する。また、定期的にベンチャー企業経営者等によるセミナーを実施し市内における第二創業機運を醸成する。 【今年度要求のポイント】 生産現場におけるIoT等の導入により人手不足の解決を図るため、R1年度にスタートしたスマートものづくり導入支援では相談業務に加えて導入にあたっての補助制度を実施しているが、R2年度はロボット導入による製造工程や業務プロセスの自動化を支援する補助枠を創設する。また、引き続き中小企業の新事業創出のための第二創業促進支援を実施するとともに、製品・技術開発にかかる補助金及び専任コーディネータによる個別支援を実施し、中小企業の経営基盤強化に資する研究開発支援を実施する。	期間	要求額(千円)				
	R ~ R					
	主な要求内容	(単位:千円)				
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	スマートものづくり導入支援補助金	2,500	4,500	補助金		
				IoT導入枠 500千円×3社		
				ロボット導入(自動化)枠 1,500×2社		
	ものづくり新事業チャレンジ支援補助金	25,000	15,000	補助金		
				5,000千円×3社		
	技術開発コーディネート事業委託	1,000	1,000	委託料等		
第二創業促進支援業務委託	4,000	4,864	委託料等			
その他	415	415				
合計	32,915	25,779				
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～元年度)】		【2年度】		【今後予定(3年度～)】		
生産性向上支援に関して、実際の導入に対する補助制度を創設する。また第二創業についてもさらに市内での機運醸成を図る。		生産性向上支援に関しての補助制度を拡充する。また第二創業や研究開発によるさらなる新事業創出を支援する。		必要な改善を行ったうえで実施。		
その他 特記事項						
関連事業： 経営サポート事業(堺市産業振興センター事業補助金)						